（1）　主題名　異性に対する正しい理解　〔中学校　２－（４)〕
（2）　ねらい　異性に対する理解を深め，信頼と敬愛の念を育み，互いに向上しようとする態度を養う。
（3）　資料名　「『好き』と『愛する』と」（出典：道しるべ３　正進社）

資料の概要
「好き」と「愛する」って，ちょと違うよね。「好き」っていうのはこちらの一方的な感情ですむかも知れないけれど，「愛する」ってなると，相手の人生をも考えることだよね。愛は一緒に励まし合いながら育つものだよね。お互いを見つめ合っているだけでは愛は育たない。同じ方向をみるってことだよね。愛は甘く切なくて悲しく，そして厳しいもの・・・。

（4）　学習指導過程

	学習活動	主な発問と生徒の心の動き	留意点
導入	1　「好き」と「愛する」のイメージを出し合う。	○「好き」にはどんなイメージがありますか。 ・愛に比べて，軽い感じ ○「愛する」にはどんなイメージがありますか。」 ・簡単には使えない，重い感じ	○吹き出しを作って「好き」と「愛する」のイメージをふくらませる工夫をする。
展開	2　資料を読んで「好き」と「愛する」について考える。	○「好き」と「愛する」の違いを出し合ってみよう。 ・「好き」は一方的な感情 ・「愛する」は相手の人生も考える事 ・愛という字には「心」がある	○導入で出た意見と結びつけながら違いについて考えさせる。
	3　「愛は美しく尊く，甘く切なく悲しく，厳しいもの」であるということについて考える。	○愛の美しくて尊いところ，甘く切なく悲しいところ，そして厳しいところとはどんなところですか。 ・優しさだけが愛じゃない ・人から愛されることは難しい	○ワークシートに記入させる。
	4　「愛するということは，互いの命をいとおしむことだ」とはどういうことか考える。	◎「愛することは，互いの命をいとおしむことだ」とはどういうことなのだろう。 ・互いに相手の人生を大事してあげたいという気持ちをもつこと	○相手を大切にしようという気持ちは，互いを向上させていくことであるということを考えさせる。
終末	5　教師の説話を聞き，授業の感想を書く。	○教師の体験談を聞いて，今日の授業の感想を書いてみよう。 ・難しい内容だったけど，何年かすればわかるのかもしれない ・「愛」は「好き」より深いものだということがわかった	○「好き」と「愛する」の違いを再度おさえ，愛することの意義を深く考えさせたい。

実践報告にみる留意事項

１　資料・題材について

「『好き』と『愛する』と」という資料は，内容的にはかなり難しい文章といえる。思春期に入り，性的な関心は高まっているが「愛」や「好き」ということについて深く考えたことがない生徒が多いため，資料の内容に共感するということにはならないことが予想される。したがって，本資料は，少し価値の高い「愛」について考えるきっかけにするという位置付けで取り組んでいくべきである。

「心のノート」Ｐ50～Ｐ53 を活用すると生徒の関心を高めたりするのに効果的である。

２　指導過程の工夫

主題を健全な異性観（信頼と敬愛）［２－（４）］に設定し，導入では「好き」と「愛する」の違いについて考えさ，資料の内容に入りやすくさせる工夫をおこなった。ワークシートでは吹き出しを使って文言を入れるようにし，なるべく考えやすいように工夫した。

展開は，愛するということは，お互いを心の底から大切に思うことであるということをおさえられるよう，資料の流れにそった展開にした。

終末は，教師の体験談をもとにした説話を中心に，「好き」と「愛する」の違いを再度おさえるようにした。

３　発問の工夫

中心発問は，「『愛とは互いの命をいとおしむことだ』とはどういうことだろうか」にした。お互いに相手の人生を大切にしてあげたいという気持ちを持ってほしいという願いをこめてしっかりと考えさせた。

４　生徒の反応

資料については，かなり難解に感じた生徒もいたが、次のような感想があった。

・「好き」と「愛する」とでは，「愛する」方がなんか奥が深い感じがしました。
・今はよく分からないかも知れないけど，何年か後にわかってくることなのかも知れない。
・今は，あまりピンとこないけど，これから先，大切になってくることを学習できたと思いました。
・今まで，「好き」と「愛する」の違いなんか考えたことがなかったので，なるほどそうかと感心させられました。
・自分なりに今まで，「好き」と「愛」はなんか違うなと考えていたので，今日の授業でその違いがよく分かりました。

５　授業後のフォローアップ

クラスで出た意見については，まとめて事後に交流する時間を取った。

音楽祭，体育祭，文化祭など，男女の協力が必要になる場面が学校生活には多々ある。その行事の前後に異性の理解をあつかった資料を使って学習することも考えたい。

（八次中学校）